



2021年10月29日

各位

会社名 T O T O 株式会社
 代表者名 代表取締役 清田 徳明
 社長執行役員
 コード番号 5332 (東証・名証第1部、福証)
 問合せ先 経営企画部長 田中 義久
 (TEL : 03-6836-2024)

**2022年3月期第2四半期連結業績予想と実績との差異および通期連結業績予想の修正
 ならびに剰余金の配当(中間配当)および期末配当予想の修正に関するお知らせ**

当社は、2021年4月28日に公表しておりました、「2021年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」における第2四半期(累計)の連結業績予想と実績に差異が生じたので、お知らせいたします。

また、2022年3月期の通期連結業績予想、および2021年9月30日を基準日とする剰余金の配当(中間配当)、ならびに、2022年3月期の期末配当予想について、本日開催の取締役会において下記のとおり決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2022年3月期第2四半期(2021年4月1日~2021年9月30日)の連結業績予想と実績との差異

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する四半 期純利益 | 1株当たり 四半期純利益 |
|-----------------------------------|---------|--------|--------|--------------------------|-----------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想 (A) | 297,700 | 17,500 | 17,800 | 12,200 | 72.00 |
| 今回発表実績 (B) | 309,506 | 26,613 | 28,145 | 19,868 | 117.22 |
| 増減額 (B-A) | 11,806 | 9,113 | 10,345 | 7,668 | — |
| 増減率 (%) | 4.0 | 52.1 | 58.1 | 62.9 | — |
| (ご参考)前期第2四半期実績 (2021年3月期第2四半期) | 256,488 | 9,746 | 10,044 | 4,397 | 25.96 |

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2021年3月期に係る各数値については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっています。詳細につきましては、本日公表の「2022年3月期 第2四半期決算短信」の添付資料7ページ「(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

2. 2022年3月期通期連結業績予想の修正（2021年4月1日～2022年3月31日）

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する当期 純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|-------------------------|---------|--------|--------|-------------------------|----------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想（A） | 635,000 | 44,000 | 44,500 | 31,500 | 185.90 |
| 今回発表予想（B） | 650,000 | 50,000 | 52,000 | 37,500 | 221.21 |
| 増減額（B-A） | 15,000 | 6,000 | 7,500 | 6,000 | — |
| 増減率（％） | 2.4 | 13.6 | 16.9 | 19.0 | — |
| （ご参考）前期実績 （2021年3月期） | 577,840 | 39,656 | 41,035 | 26,978 | 159.24 |

（注）「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2021年3月期に係る各数値については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっています。詳細につきましては、本日公表の「2022年3月期 第2四半期決算短信」の添付資料7ページ「（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

3. 2022年3月期第2四半期連結業績予想と実績との差異修正の理由および2022年3月期通期の連結業績予想修正の理由

2022年3月期第2四半期（累計）につきましては、グローバル住設事業（日本）は、リモデルを中心とした販売好調により、グローバル住設事業（海外）は、中国大陸事業の市況回復や米州事業のウォシュレット出荷好調により、新領域事業は、半導体市場の需要増により、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益が予想を上回りました。

2022年3月期通期の連結業績予想につきましては、第2四半期（累計）の実績および原材料高騰など足元の状況を踏まえて、修正いたします。

詳細につきましては、本日公表の「2022年3月期 第2四半期決算説明資料」をご覧ください。

（注）本資料に記載しております業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき算定しております。実際の業績は今後様々な要因により本資料の見通しとは異なる結果となる可能性があります。

4. 剰余金の配当（中間配当）および期末配当予想の修正

（1）2022年3月期 中間配当の内容

| | 決定額 | 直近の配当予想 (2021年4月28日公表) | 前期実績 (2021年3月期) |
|----------|------------|---------------------------|--------------------|
| 基準日 | 2021年9月30日 | 同左 | 2020年9月30日 |
| 1株当たり配当金 | 45円 | 40円 | 30円 |
| 配当金総額 | 7,628百万円 | — | 5,082百万円 |
| 効力発生日 | 2021年12月1日 | — | 2020年12月1日 |
| 配当原資 | 利益剰余金 | — | 利益剰余金 |

(2) 2022年3月期 期末配当予想

| | 年間配当金 (円) | | |
|------------------------|-----------|-----|-----|
| | 第2四半期末 | 期末 | 合計 |
| 前回予想 (2021年4月28日公表) | 40円 | 40円 | 80円 |
| 今回修正予想 | | 45円 | 90円 |
| 当期実績 | 45円 | | |
| 前期実績 (2021年3月期) | 30円 | 40円 | 70円 |

(3) 中間配当および期末配当予想修正の理由

当社は、株主の皆様への利益還元を経営の重要課題のひとつとしており、今後の事業展開を勘案した積極的な将来投資および安定的な配当を基本方針としています。

配当性向につきましては、親会社株主に帰属する当期純利益の40%を目処とし、業績に連動した利益還元を目指しつつ、安定的な配当の維持に努めてまいります。

2022年3月期の配当に関しては、上記方針および公表した業績予想の修正を勘案し、中間配当を前回予想に対し5円増配の45円とすることを決定いたしました。また、期末配当につきましても、前回予想に対し5円増配の45円とする予定です。

以 上